

学術講演

Buddhist and the Narrative Self

仏教と物語る自己

講師 Mark Unno先生

Head, Religious Studies

Associate Professor of East Asian Religions

Department of Religious Studies, University of Oregon

オレゴン大学准教授、宗教学科長、人間・科学・宗教ORC共同研究者

※進行・レスポンス 鍋島直樹 龍谷大学文学部教授

ひとは誰しも自己を物語ることに存在している。絶望の間の中で見出す光を求めている。この講義では、仏教思想に基づいて苦難を超える物語と生きる道を考えたい。

講師紹介

海野マーク氏は、河合隼雄著『明恵 夢を生きる』の全英訳や単著Mark Unno, *Shingon Refractions: Myoe and the Mantra of Light*, Wisdom Publication, 2004の出版を通して、仏教における夢と自己の存在意味、日本中世思想の意義を解明してきた。2003年に、京都大学大学院教育学研究科客員教授として訪日した。龍谷大学人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センターとオレゴン大学ヒューマニティセンターとは親交を重ね、2006年に、オレゴン大学において国際会議「仏教と心理療法の総合的研究」を開催した。その成果はMark Ty Unno ed., *Buddhism and Psychotherapy: Across Cultures: Essays on Theories and Practices*, Wisdom Publication, 2006や海野マーク・鍋島直樹・岡田康伸・倉光修編『心の病と宗教性—深い傾聴』（法蔵館、2008年）として出版されている。

開催日：2012年4月18日（水）

開催時間：13:15～14:45

会場：龍谷大学 大宮学舎清風館B103
京都市下京区七条大宮南東角



問い合わせ

龍谷大学 人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター (UNIT4)

電話 (075)645-2154 FAX (075)645-2240

<http://buddhism-orc.ryukoku.ac.jp>